

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスなごみ家		
○保護者評価実施期間	2024年4月1日		～ 2025年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年4月1日		～ 2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月22日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性に合わせたカリキュラムを作成し、将来の進学や就職に向けての取り組みを行っている。	利用者一人一人にあった資料作りを行い、授業の中にも動画も取り入れ、より内容がわかりやすいように工夫を行っている。 始業と終業がわかりやすいように、音楽を流し利用者に周知している 進学や就職に役立つようなカリキュラム内容にしている	卒業生が実際に就業してみようか？やどのような作業をしているのかなど講演をしてもらう。 社会生活を送るうえで、大切なこと例えば家事動作なども授業に取り入れていく 個人面談を充実し、不安や希望を汲み取り、不安を解消していくことができるような授業内容に取り組む
2	公共交通機関を使用するの外出や職場体験を実施し、仕事を体感できるように取り組みを行っている	将来公共交通機関を使用するの移動も予測されますので、外出する際は今後も電車やバスなどを使用していきます。 長期休暇を利用し、職業体験や職場見学を行い、体感することにより、仕事を身近に感じていただくようにしています。実際に体験後は、仕事の大変さや作業の楽しさなど感じてもらっています	公共交通機関については、団体行動では取り組みにくい為、個別での対応も検討していく 職業体験や障がい者雇用を促進している企業に、体験や見学の依頼を継続し、1つでも多くの職業に触れてもらい、将来の夢を利用者に持ってもらう
3	定期的に家族会や授業参観を行うことにより、保護者の方にも当事業所の取り組みを理解していただく	不定期ではありますが、授業参観や保護者懇談会を行いました。調理実習を参観していただきましたが、好評でした。 保護者懇談会では、事業所の目指している方針や授業内容のことを説明させていただき、保護者の意見や要望も聞くことができました。	保護者の意見を行政にも意見として声をあげていくことや、保護者との個別の相談も随時受付を行い、信頼関係を築き、必要な情報収集を行い提供を継続。 授業内容がわかるように使用したプリント類は持ち帰り説明時に使用することを継続。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別対応を実現するためには、マンパワーを確保する必要がある	今現在いるスタッフ数でできるかぎり個別対応を行っていく	個別支援が必要な利用者をグループ化し、少人数のスタッフでも対応できるように支援を行う
2	長時間過ごす時のフリースペースの確保が難しい 階段があり、階段が使用できない利用者は利用できない	当事業所で対応している利用者は小学生の高学年～高校3年生になり、身長や体格が大きくなり教室が手狭に感じる 保護者からの意見でも、階段が急なように感じると意見がある	教室のスペースの使い方を再検討し、物置など必要な物は購入していく 階段についてはどうすることもできない為、スタッフが見守り安全に昇降していただく
3			